

<立会川に花と笑顔を！>

からふるぴーすプロジェクト 2022 実施報告

実施日時：令和4年3月23日(月) 15時～16時10分

実施場所：涙橋～月見橋間 立会川側道

主催者：NPO 法人 しながわ花海道

協力者：品川区 地域活動課 ほか関連部門

協力者：品川区立浜川中学校ボランティア部

協力者：株式会社 ローソン、ローソン銀行

維持管理：かつをの庭、近隣地域ボランティア・近隣町会有志

2月17日(木)16時～17時半、区立浜川中学校 地域連携本部に、区地域振興部、浜川中学校関係者、ローソン、かつをの庭、しながわ花海道関係者が集り「からふるぴーすプロジェクト2022春」の事前打合せを実施し、下記の植栽要項が決まりました。

- ① 溶岩プランター(20cm×90cm溶岩ポット)200個に植栽する。
- ② 両側2株は既に黄色パンジー2株を残す。
- ③ 今回は現サルビアを抜き、中央に3株を植栽する。3株は両側にネモフィラ2株、中央に白色系花卉を配置する。



サルビアを抜き事前に整備したプランター

新型コロナ感染防止措置は解除されましたが、前日が曇交じりの肌寒い雨天で、天気を心配しましたが、当日は薄曇りでした。NPO しながわ花海道懸田副理事長、柳岡浜川中学校校長、安藤第一地域センター所長をはじめ、浜川中学校生徒39名、学校関係者5名、ローソン関係者10名、地域・町会有志10名、区役所など約70名が参加し、実施されました。昨年は新型コロナ蔓延防止対策で浜川中学校の限られた方だけの参加でしたが、今年は本来の姿で生徒たちの参加でき、学校、企業、地域の三位一体体制での植栽事業を行うことが出来ました。

例によって、当日の活動状況状況をスナップ写真で時系列に沿ってご報告します。

1. 実施準備

既に植栽された両側の黄色パンジーを活かし、事前打合せ通りパンジーの内側に青色のネモフィラ2株、中央には白色のローダンセマム1株を配置しました。花卉の配色は、昨年同様、共催支援企業のローソンカラーを模しています。苗ポットは、当日午前

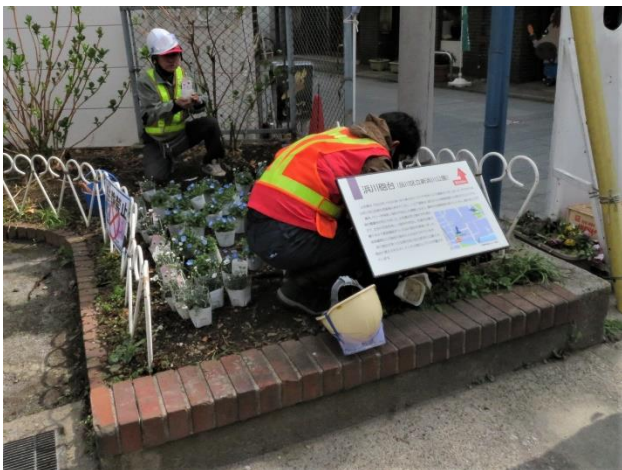
中に花卉市場より取り寄せています。苗ポット到着後、事務局の手で今回作業域となる西側1ブロックから5ブロックまでの溶岩プランター内所定位置へ苗ポットを配置しました。



事前準備されたプランター内のポット

2. 事務局による立会川側道対象外の植栽

プランターへの苗ポット配置作業終了後、事務局の手で、北浜川児童遊園花壇へネモフィラの植栽作業を行いました。駅傍で人通りが多い橋なので植栽後、早速、見学される方々が散見されました。



北浜川児童遊園花壇へのネモフィラ植栽中



北浜川児童遊園花壇へのネモフィラ植栽後

3. 開会準備

13時頃から14時まで、開会式会場となる浜川北公園でテーブル、スコップ、軍手、横断幕、幟、飲料、記念品など、実施に要する準備を行い参加者の到着を待ちました。昨年は、新型コロナウイルス感染防止対策で、参加者の検温を行いましたでしたが今回は政府の蔓延防止措置が終了したので省きました。



準備された立て看板としながわ花海道の幟

4. ローソン関係者到着

14時過ぎ今回の協賛企業ローソン関係者の先陣が到着し、準備されたローソン側記

念品と事務局側が準備した記念品の袋詰め作業を行いました。作業終了後、浜川中学校生徒たちへの説明に先立ち、事前段取りについて説明を行いました。



記念品の袋詰め作業



今回しながわ花海道とローソンが提供した参加者への記念品



生徒を除く参加者での事前ミーティング

その後、今回する近隣町会、ローソン銀行などの参加者も三々五々参集し、記念撮影の段取りなどを行い、生徒たちを迎える準備が整いました。

5. 浜川中学校生徒の到着

予定よりやや遅れましたが 15 時過ぎに、柳岡浜川中学校校長や先生方に引率され、浜川中学校 7 年生 39 名が北浜川公園に集結しました。ボランティア部のジャンパーの色とローソンのジャンパーが偶然に同色で色だけでは両者を識別し難い状況になりましたが、昨年と比較にならないほど賑やかな光景となりました。



到着した浜川中学校ボランティア部員

6. 開会式

全員が揃った段階で、開会式を始め、事務局責任者の永尾総務理事から行事の進行に関する概要説明を行い、キックオフとして、主催者である NPO 法人しながわ花海道高林理事長に代わり、懸田副理事長が当日の実行委員長として開会の宣言と挨拶を行い、イベントが開始されました。



事務局永尾理事の概要説明



柳岡浜川中学校校長

開会宣言後、昨年同様今回のイベントに協賛した企業ローソンの合田氏が挨拶し、最後に柳岡浜川中学校校長が注意事項と閉めの挨拶を行い開会式は終わりました。

7. 植栽実施要領の説明

しながわ花海道の植栽業者かつをの庭首藤社長が、作業に当たっての注意と作業要領を実演説明しました。



懸田副理事長の挨拶



かつをの庭 首藤氏による説明



ローソン合田氏の挨拶

8. 記念撮影

作業完了がバラバラになるので作業開始前に、参加者の集合写真を撮りました。品川区の広報も参加していますので、後日、参加者に支障のない範囲で公開されます。



参加者集合写真

9. 植栽作業開始

参加者を一チーム十数人単位の4グループに分け、予め決められた担当ブロック責任者の引率でブロック単位で担当ブロックまで団体で移動しました。チームは生徒主体ですが、学校、企業、地域三者が混ざる協働作業で植栽を開始しました。段取り良く、生徒たちが先行到着したブロックでは地域やローソンの方々が後から追いかける場面もありましたが、協働の趣旨に沿いできるだけ混合するよう注力していました。



浜川中学校生徒と地域の協働植栽



浜川中学校生徒とローソンの協働植栽



植栽後散水



浜川中学校柳岡校長も植栽に参加

今回は、参加者の手際が良い上、参加人数も多く、植栽苗株が少ないこともあり、当初設定したタイムリミットより早い16時前に植栽が完了しました。



植栽完了した溶岩プランター

10. 作業後集合挨拶

事故もなく無事に、予定より30分ほど早く作業完了し、北浜川公園に参加者は戻り、実行責任者の事務局永尾総務理事の進行で閉会式を行いました。品川区を代表して、この地区を所管する、大井第一地域センター安藤所長が第一地域センターの役割を紹介する挨拶を行いました。閉会式は、しながわ花海道の生徒参加行事では、生徒代表の挨拶で締めることが恒例になっています。今回も参加した生徒の代表による挨拶で、一連の行事を終わりました。



実行責任者 永尾総務理事 挨拶



大井第一地域センター安藤所長挨拶



浜川中学校生徒代表挨拶

11. 散会

散会にあたり、事務局とローソンが準備した、花の種の菜、付箋紙、木製コースター、種缶、飲料のセットが参加者全員に提供配布され、16時10分散会しました。

地域連携協働事業のモデルとなるよう今後も継続する所存ですので、今後ともご支援いただけるようお願い申し上げます。

末尾になりますが、本業がお忙しい中、本事業の準備に奔走された方々、当日作業した浜川中学校生徒、生徒をを指導された関係者、いつもながら多大なご支援を頂いたローソン・ローソン銀行関係者、日ごろからボランティア活動をご支援頂いている近隣

町会有志や住民の方々、全てに深くお礼申し上げます。今後とも引き続きよろしくお願いたします。



閉会散水後



閉会散水後



閉会散水後

(おわり)